

●ミニフォト

力の限界に挑戦



やったー上がった！

重い石を持ち上げて力試しをする力石総社が8月25日、総社宮で行われました。子どもから大人まで約200人が挑戦。参加者は1貫(3.75kg)から横綱力石(180kg)までの23種類の石を力を振り絞って持ち上げていました。

姉妹都市からの贈り物



チュッピーもお手伝い

姉妹都市の長野県茅野市から市の花であるリンドウが贈られ、9月9日に市役所を訪れた市民らに配布されました。プレゼントされたのは50本。受け取った来庁者は青紫色の清らかな花に高原の秋を感じていました。

地域に根ざした郷土芸能



みんなの心に響け

山手福山合戦太鼓が結成30周年を迎え、9月1日に山手公民館で記念演奏会が開催されました。23人の団員が、練習を重ねた全8曲を熱演。館内に響く力強い太鼓の音で、訪れた観客を魅了していました。

講座を満喫



フラダンスに挑戦

9月8日、働く婦人の家で講座体験Dayが開催されました。体験できたのはボトルフラワーやトルペイント、フラダンスなどの12講座。参加者は体を動かしたり、ものづくりを楽しんだり充実した時間を過ごしていました。

まちを守る消防自動車



大きなしご車を写生する

9月7日、消防庁舎グラウンドで消防写生大会と消防フェスタが開催されました。市内の小学生以下の子ども約300人が参加。はしご車やポンプ車、救急車などを、クレヨンや絵の具で思い思いに描いていました。

英語特区でボランティア



園児と触れ合う

市と包括協定を結ぶ青山学院大学の学生7人が、9月9日から13日まで、英語特区の昭和・維新地区をボランティア活動に訪れました。子どもに英語を教えたり、地域の人と交流したりすることで自身の成長を感じていました。

夏休みの親子体験



ちくわの製造工程を見学

8月20日、株式会社紀文西日本岡山総社工場で、ふるさと納税寄付者への体験型返礼品として、特別見学ツアーが行われました。4組18人の親子連れが招待され、ちくわの製造ラインを見学。出来る上がる工程に見入っていました。

昆虫を作って学ぶ



慎重に組み立てる

岡山県立大学で8月23日、県大キッズキャンパスが開催されました。市内の小学4年から6年までの10人が、紙でオオスズメバチの模型を作成。苦勞して完成させたそれぞれの作品の出来栄に満足そうでした。

自分だけのまがたまづくり



紙やすりで仕上げ

古代の装飾品であるまがたまづくり体験が8月21日、まちかど郷土館で行われました。参加した市内の小学生らは、説明を受けた後、吹き出す汗を拭いながら滑石を削り、昔の人の地道な作業を体験していました。



それぞれ好きな小学校カレーを食べる参加者

愛されて10万個・10万本達成

10万個(本)達成感謝祭

平成28年12月に販売を開始したそうじゃ小学校カレーが7月29日に10万個を、同じく29年6月に販売を開始したチュッピーウォーターが31日に10万本を達成し、8月22日にカミガツジプラザで達成感謝祭が行われました。

10万個・10万本の達成日を当てる「応援ありがとうキャンペーン」当選者の抽選会も同時開催。

会場ではそうじゃ小学校カレーとチュッピーウォーターを特別価格で楽しめるコーナーも設けられ、訪れた人は総社の特産品を味わっていました。



完成してみんなで万歳

自分たちのまちをジオラマに

きっずフレンドまっぷ2019

総社東小学校放課後児童クラブ「総社東キッズクラブ」が制作していた同小学校区のジオラマが8月23日に完成し、お披露目されました。

ジオラマは縦2m、横4mで、畳約4畳分の大きさ。クラブ員49人と支援員が、山・川・田んぼ・道路・建物・線路の6チームに分かれて制作しました。夏休みの約1カ月を掛けて完成した力作に、児童らは誇らしげでした。

優良PTA 文部科学大臣表彰



中山会長(左)と本行園長(右)

昭和幼稚園PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受けました。中山PTA会長と本行園長が8月16日、市役所を訪れ表彰を報告。会員と地域で行う読み聞かせや交通ルールを学ぶ寸劇などの活動が評価されました。

90回の節目の大会



力強く基石を打つ

8月27日、市内のいきいきシニア総社会員らの生きがいづくりを目的に、総合福祉センターで夏季囲碁大会が開催されました。38人の参加者は碁盤を見つめ、対戦相手の打つ手に集中し、真剣に次の一手を考えていました。

災害時の応急措置を迅速に



大型土のうを作る

建設機械を活用した災害復旧合同訓練会が8月26日、消防本部で行われ、消防団員や消防職員ら約50人が参加。市建設業協同組合の指導のもと、ショベルカーやクレーン車を使い、大型土のう作りや土砂撤去作業を行いました。